

# 8組（知的障害学級）数科学習指導案

## 1 単元 岡崎市をよく知るための観光コースとは（11時間完了 本時10/11）

### （1）単元目標

- ① 様々な硬貨や紙幣の種類を理解し、必要な硬貨や紙幣を提示することができる。（知識・技能）
- ② 複数枚必要な硬貨や紙幣を的確に判断できる。（思考・判断・表現）
- ③ 生活の中で、提示された金額を超えないように、見積もろうと考えようとする。

（主体的な態度）

### （2）単元構想

本学級の生徒は、1学期「時間・時刻」の学習で、所要時間の書かれた表から必要な情報を読み取る生徒、必要な情報から計算をして合計時間を求める生徒、計算結果から単位変換をしてより表しやすい時間・時刻に変換する生徒のように、それぞれの生徒の能力に合わせて学習することができた。さらに、学習していく中で、生徒同士でコミュニケーションを交わしながら問題解決をする姿も見られた。それぞれの生徒が活躍できるように役割分担をすることで、自分でやりきろうと意欲的に学ぶことができた。本単元も、各生徒が活躍できるように、さらにコミュニケーションスキルを高めるために、5人が協力して一つの成果を実感できるような授業にしたい。そのため、既習してきたことを活用し、役割分担を明確にしながら一つの成果となるような実践を行いたい。

本単元は、岡崎市を紹介するため、観光ルートを5人で考える。そのために5人で協働的に活動し、たくさんの観光地を回れるような時間・お金の計画をする。学校生活や社会生活を送る中で、時間や時刻を逆算して計画したり、必要な費用を前もって見積もったりすることができることは大切である。そのために、数学の授業でそれぞれの能力に合わせた課題を生徒が見つけ、グループ全体で協働して活動を行う。「お金」の計算を学習した後に、1学期に学習した「時間」「時刻」の計算を活用し、「お金」の計算を学習した後に、岡崎市をよく知るための観光コースを考える。

指導にあたっては、それぞれの役割分担を果たすために、「時間」「時刻」と「お金」の分野に分け、それぞれ2人で協力できるようにグループ分けをする。さらに、**話し合いの場では、それぞれの画面を共有するために、MYタブレットを使用して授業を行う。アプリの特性上、画面共有をするときにタイムラグがあるため、班長である生徒の画面をモニターに映し出し、リアルタイムで見られるように工夫する。**

本校の研究は「未来をたくましく生きる力を育む教育の創造」であり、実生活に結びついた問題に対して、主体的に考え、その学びから新しくSOZO（想像・創造）しようとする生徒の育成を目指している。この生徒像に近づくことができるよう、本単元では、**導入で、実際の旅行パンフレットを見たり、3年生は体験入学へ行く学校までの行き方を自ら調べたプリントを見たりすることで、「お金」「時間」「時刻」の密接な関係を見つけられるようにする。3つの関係を1人で一度に作業することは不可能である。そこで、グループを活用した協働学習を行う。これにより、個別支援に合わせた学習指導を立て、協力して学びに向かいながら主体性を実現できると考えた。**実社会でも、様々な部署に振り分けて仕事を行うように分担作業をし、それぞれの仕事を行うとともに、意見交換や報告を行う。そうすることで、今後社会でも役割分担をし、一つの成果を得られるように努力することや、これからの生活の中で、時間の逆算やお金の見積もりをどのようにするか、方法を学ぶことができる。**今後の修学旅行やスキー学習、入学試験での予定などをたてる時に必要なスキルであることを気づくことができるよう支援する。そして、他の実生活でも活用できるようにSOZOをふくらませ、未来にたくましく生きる力を育みたい。**

### （3）単元計画

学習内容	研究の手だて	時間
・お金を使うときはどんなときだろうか。	<b>（研究の手だて①-A）</b>	1
・お金すごろくをしよう（お金の差し引き）。	<b>（研究の手だて②-B）</b>	3
・財布の中を軽くできないだろうか（両替）。	<b>（研究の手だて①-A）</b>	2
・決められたお金で、どれだけ買えるだろうか。		3
・岡崎市をよく知るための観光コースとは。	<b>（研究の手だて③-D）</b>	2 本時（1/2）

## 2 本時の学習指導

## (1) 本時の目標

生徒A	すべての行程で、必要な時間を計算することができる。	(思考・判断・表現)
生徒B	観光地で、必要な時間を計算することができる。	(思考・判断・表現)
生徒C	指定された時刻、時間計算し制限時間を超えていないか確かめることができる。	(主体的な態度)
生徒D	限られた金額から超えていないかを計算、確認することができる。	(思考・判断・表現)
生徒E	観光地で、必要な金額を計算することができる。	(思考・判断・表現)

## (2) 展開

段階	生徒の活動	教師の活動
想像 (5)	1 旅行パンフレットや、学校見学の行程表に、載せられている情報を見つける。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地の写真</li> <li>・可能な交通手段</li> <li>・必要な金額</li> <li>・営業時間、定休</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①<b>実際の旅行パンフレットや、これまでの学校見学の行程表を見せることで、行動計画するために必要な情報をイメージし、学習課題につなげる。(研究)</b></li> <li>・学習課題を黒板に貼る。</li> </ul>
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>岡崎市をよく知るための観光コースを考えるためには。</b> </div>	
究明 (15)	3 コラボノートを見ながら問題を把握する。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡崎市の観光場所はどこがあるかな</li> <li>・2時間の中で、どれだけ回れるかな</li> <li>・移動する方法はなにがあるかな</li> </ul> </div> 4 岡崎市の観光地を考え、発表する。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東公園</li> <li>・おかざき世界子ども美術博物館</li> <li>・一番山</li> <li>・岡崎公園</li> <li>・中央総合公園</li> <li>・南公園</li> </ul> </div> 5 コースを考えるために必要な情報を自分で考え、発表する。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入場料金、乗車料金</li> <li>・移動に必要な時間</li> <li>・それぞれの滞在時間</li> </ul> </div> 6 自分が観光コースに掲載したい観光地を2つ考える。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わんわん動物園と岡崎城を伝えたいな。</li> </ul> </div>	『翔南ウォーカー』に、岡崎市の観光コースを載せることになり、8組ならではの観光コースを考えるように、磯部社長から頼まれた。条件は、時間は2時間以内であり、お金は1000円以内であること。出発地と到着地は岡崎駅とする。  「岡崎市の観光地といえば、どんな場所があるだろうか」 ・観光地が思いつかない生徒は、MYタブレットで調べるようアドバイスする。 「コースを考えると、このままでは考えることはできない。どのような情報が必要か」 ・地図に、それぞれの観光地までの時間や、金額が書かれたプリントを配付する。 ・コラボノートに、自分が行くべき観光地を「コラボノート」に記すよう説明する。
解決 (18)	7 個人の考えを伝え合い、具体的な観光コースを話し合う。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;">           生徒C：各生徒にどの観光地に行きたいか聞き、総括して、行く場所を決める。決めていく中で、限られた条件から違反していないかを確認する。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室後ろのテーブルへ、必要な道具を持って移動し、5人の役割分担を説明したうえで、話し合いをするよう伝える。</li> <li>・②<b>「コラボノート」を利用し、それぞれがどの観光地へ行くべきかを、級友に伝えたり、その後の意見交換の場を円滑に進める。(研究)</b></li> <li>・②<b>生徒Cが他の生徒に説明するとき、コラボノートは、文字を書いたり線を記入したりする際に、タイムラグが発生するため、より</b></li> </ul>

<時計課長>

生徒A：移動時間を計算する。その後、生徒Bから各観光地に必要な時間をたす。必要があれば、生徒Bのサポートをする。

生徒B：各観光地に必要な時間を計算し、生徒Aに伝える。

<お金課長>

生徒D：移動に必要なお金を計算する。その後、生徒Eから各観光地に必要なお金をたす。必要があれば、生徒Eのサポートをする。

生徒E：各観光地に必要なお金を計算し、生徒Dに伝える。

円滑に行うため、テーブルにミニモニターを設置し、他の生徒が生徒Cのしている画面をリアルタイムで見られるように工夫する。(研究)

・②生徒B(時間)：時間計算を円滑にするためにテープ図のように、目盛りのある台紙を用意し、各時間数のテープをあてはめ、計算できるようにする。(研究)

・②生徒E(お金)：お金の計算を円滑するために、練習用お金を利用し、実際に払うとしたら、どの硬貨を出すかを考え、行程をすべて終えたら全ての金額を合計し、計算できるようにする。(研究)

・生徒Cに、岡崎市をよく知るためのルートを説明するよう伝える。

・生徒が時間をかけて様々な意見交換ができたことを称賛する。

・今回、移動行程を考えるとときに必要となる情報や計算方法を確認する。

・③SOZOするように指示する。(研究)

整理  
(5)

8 話し合いの結果、決めたルートがどのようなルートか、時間やお金は条件に当てはまっているかを確認する。

9 課題の整理を行う。

- ・移動と観光場所で、必要な時間の合計
- ・移動と観光場所で、必要となる予算

創造  
(5)

10 本時の学びからSOZOする。

- ・自分がおでかけするときも、同じような方法で考えたいな。
- ・市外の友達にも教えたいよ。

### (3) 評価

生徒A	生徒Bと協力して、クラスで考えたルートで必要な時間を正確に計算することができたか。(思考・判断・表現) ——活動7・8の様子から
生徒B	各観光地で、必要な時間を正確に計算することができたか。(思考・判断・表現) ——活動7・8の様子から
生徒C	考えられたルートが、条件に当てはまっているかを的確に説明することができたか。(主体的な態度) ——活動7・8・9の様子から
生徒D	生徒Eと協力して、考えられたルートで、必要なお金を正確に計算することができたか。(思考・判断・表現) ——活動7・8の様子から
生徒E	各観光地で、必要なお金を正確に計算することができたか。(思考・判断・表現) ——活動7・8の様子から

